

場 所		分 類						
原子炉建屋内	RB	RB	2	1	時間	被ばく低減対策好事例集	番号	02-11
タービン建屋内	TB			2	距離			
R ZONE	R			3	遮へい			
Y ZONE	Y			4	線源の除去			
G ZONE	G			5	遠隔、ロボット化			
その他	Z			6	汚染拡大防止			
()		7	その他					

内 容 高線量6m³コンテナからの距離確保と工法カイゼン

作業場所 2号 R/B 構台上前室エリア

概 略 放射線管理員の被ばく低減を目的に遮へいBOXの設置とスミア採取治具を使用して高線量6m³コンテナの汚染確認を実施した。

評 価 (定性・定量)	効 果	対策前		対策後		
		被ばく線量(mSv)	—	—	—	—
		人工数(人日)	—	—	—	—

事例詳細

対策前 高線量6m³コンテナの移動前に汚染確認をする必要があり、被ばくする恐れがあった。

対策内容 放射線管理員が遮へいBOX内からスミア棒を伸ばし6m³コンテナの汚染確認を実施した。

放射線管理員待機エリア

遮へいBOX

**遮へいBOX内線量当量率
4.0mSv/h⇒2.0mSv/h**

**鉄板+鉛：22mm+9mm
遮蔽効果：約54%**

スミア棒（伸縮用）

スミアを先端に取り付け
多角的に変形
連続採取

最大6mまで延長可能